

# 日本バイオセーフティ学会

## 学会からのお知らせ 2008 No. 3

平成 20 年 11 月 5 日  
学会事務局

### 第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

すでにご案内のように、2008年度、第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を平成 20 年 12 月 11、12 日(木、金)に山西弘一学会長(医薬基盤研究所)のもと、大阪にて開催いたします。現時点でのプログラム案をお知らせいたします。多数の会員の参加をお願いいたします。ほかに、郵便払込票(参加費、懇親会費)及び出欠連絡用FAX送信票を同封します。出欠の連絡は **11 月 14 日(金)まで**にお願いいたします。期日厳守をお願いいたします。

今回は学会会期中の 11 日午前(教育講演(3 題)とセッション I 消毒(4 題)、午後には、セッション II アジアにおけるバイオセーフティの現状とシンポジウム BSL4 は、わが国に必要な(仮)を行ないます。12 日午前(一般演題(5 題)の口演発表とセッション III バイオセーフティ施設(3 題)を行います。午後には、セッション IV 医療施設におけるバイオセーフティ対策の現状と問題点(4 題)とセッション V 実験動物(4 題)を行います。今年度も 2 日間にわたって展示を行います。約 15 程度の企業等からのバイオセーフティ関連の機器、病原体輸送器材等の展示が出る予定です。会員の皆様の多数の参加をお願いいたします。非会員へも学会集会についてお知らせし参加願えるよう広報をお願いいたします。懇親会も 11 日に行いますのでこちらへも多数の会員・非会員の参加をお願いいたします。

#### 今回のお知らせでの送付内容:

1. 第 8 回総会・学術集会プログラム(仮) (本お知らせ内)
2. 郵便払込票(参加費、懇親会費) 参加費 1 万円、懇親会費 5 千円
3. 出欠連絡用FAX送信票 (11 月 14 日(金)までにご連絡ください) 期日厳守
4. 会員名簿 2008

#### 学会費納入

2008 年度(1 月-12 月)の年会費 5,000 円(正会員)、30,000 円(賛助会員)をご納入くださいますようお願いいたします。納入に際しましては送付済みの「払込取扱票」にてご納入ください。なお、入会金 1,000 円、2007 年度までの正会員年会費 5,000 円及び賛助会員年会費 30,000 円を未だ納入していただいてない会員の方はご納入くださいますようお願いいたします。

#### 新規会員紹介

##### 正会員

大山 貴之 岐阜大学  
岐阜県岐阜市柳戸 1-1  
堀田 博 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1  
林 祥剛 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1

大澤 朗 神戸大学  
兵庫県神戸市灘区六甲台 1-1  
森 康子 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1  
小西 英二 神戸大学  
兵庫県神戸市須磨区友が丘 7-10-2  
宮腰 隆志 株式会社日立プラントテクノロジー  
東京都豊島区東池袋 4-5-2  
Deng Lin 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1  
勝二 郁夫 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1  
岡本 成史 独立行政法人医薬基盤研究所  
大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8  
小崎 俊司 大阪府立大学  
大阪府堺市中央区学園町 1-1  
作道 章一 大阪大学  
大阪府吹田市山田丘 3-1  
堀井 俊宏 大阪大学  
大阪府吹田市山田丘 3-1  
朝長 啓造 大阪大学  
大阪府吹田市山田丘 3-1  
田島 優 大阪大学  
大阪府吹田市山田丘 3-1  
足達 哲也 神戸大学  
兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1  
渡邊 洋平 大阪大学  
大阪府吹田市山田丘 3-1

第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 事務局  
(第 8 回学会事務局)

第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 事務局  
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8  
(独) 医薬基盤研究所内感染制御プロジェクト内  
TEL: 072-641-9012 FAX: 072-641-9013  
Eメール: rfukuda@nibio.go.jp

学会事務局: 国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内  
杉山 和良  
〒162-8640 新宿区戸山 1 丁目 23 番地 1 号  
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1184  
E-mail ksugi@nih.go.jp  
www.nih.go.jp/nid/meetings/jbsa/gakkaiannai.html

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会プログラム(案) 第二報

[第1日目 12月11日(木)]

9:00-9:30	受 付	
9:30- 9:35	開会挨拶(学会長:山西弘一)	
教育講演(座長:佐多徹太郎・相楽裕子)		
9:35-10:05	梅田浩史 厚生労働省	管理について
10:05-10:25	安藤秀二 国立感染症研究所	病原体輸送の現状と課題
10:25-10:35	馬見塚潔 日本通運(株)	特定病原体運搬取扱とカテゴリBの取扱について
10:35-10:45	休 憩 (10分)	
セッション I 消毒(座長:堀田博・岩田健太郎)		
10:45-11:05	佐野浩一 大阪医科大学	医療機器の消毒と滅菌
11:05-11:25	岩田健太郎	きれいにはきたない、きたないはきれい。人の消毒はどこまで可能か、必要か
11:25-11:45	大久保憲	CJD プリオンの感染性不活性化について
11:45-12:05	岡本成史 (独)医薬基盤研究所	歯科領域の消毒と滅菌
12:05-13:05	昼 食 (60分)	
13:05-13:30	総 会	
セッション II アジアにおけるバイオセーフティの現状(座長:杉山和良)		
13:30-13:50	杉山和良 国立感染症研究所	WHO WPRO のバイオセーフティへの取り組み
13:50-14:40	研修生 JICA	JICA 研修「アジア地域振興感染症バイオハザード対策」参加国の地域報告 インドネシア、タイ、ラオス、モンゴル、ミャンマーを予定
14:40-15:00	討 議	
15:00-15:10	休 憩 (10分)	
シンポジウム BSL4は、わが国に必要な(仮)(座長:倉田毅・倉根一郎)		
15:10-15:40	丸井英二 順天堂大学	リスクコミュニケーションの役割と可能性
15:40-16:10	喜田宏 北海道大学	インフルエンザウイルスの生態—新型ウイルスの出現に備えて—
16:10-16:40	杉山和良 国立感染症研究所	BSL4 施設設計及び維持管理について
16:40-17:10	倉根一郎 国立感染症研究所	

[第2日目 12月12日(金)]

9:00- 9:30	受 付	
一般演題 口頭発表:5件:15分(内質疑3分)(座長:高橋和郎・中屋 隆明)		
9:30- 9:45	伊木繁雄 国立感染症研究所	国立感染症研究所におけるバイオセーフティ講習
9:45- 10:00	緒方規男 大幸薬品(株)研究所	インフルエンザウイルスに対する低濃度二酸化塩素ガスの効果
10:00-10:15	小野恵一 (株)日立産機システム 石原正也 (株)山武ビルシステムカンパニー	室外排気型バイオハザード対策用クラスIIキャビネットの流入風速安定化に関する検討
10:15-10:30	神谷松雄 日立プラントテクノロジー	実験動物飼育施設向け空調設備の高機能化検討
10:30-10:45	和田史朗 (株)美和製作所	グローブボックス内の環境保持性
10:45-11:00	休 憩 (15分)	
セッション III バイオセーフティ施設 (座長:北林厚生)		
11:00-11:20	宮本一平	2つの研究施設のコラボレーション計画
11:20-11:40	本田俊哉	バイオセーフティ施設におけるセキュリティ及び出入退室管理システム
11:40-12:00	篠原克明 国立感染症研究所	JBSA バイオセーフティガイドラインについて、今後の計画
12:00-13:00	昼 食 (60分)	
セッション IV 医療施設におけるバイオセーフティ対策の現状と問題点(仮)(座長:朝野和典・岩本愛吉)		
13:00-13:20	浅利誠志	微生物検査室のバイオセーフティ対策
13:20-13:40	長沢光章 東北大学	感染症法の改正と微生物検査室の対応および課題
13:40-14:00	佐多徹太郎 国立感染症研究所	病理検査のバイオセーフティ対策
14:00-14:20	青木洋介	病院感染対策からみたバイオセーフティ対策
14:20-14:30	休 憩 (10分)	
セッション V 実験動物(座長:黒澤努・吉川泰弘)		
14:30-14:50	黒澤努 大阪大学	AAALAC International の概要
14:50-15:10	伊川正人	感染動物実験の管理について
15:10-15:30	岡田全司	新しい結核ワクチン開発の実験動物
15:30-15:50	明里宏文 (独)医薬基盤研究所	霊長類感染症モデル研究におけるバイオセーフティ

